




 それから、多くのパパに言いたいことなんですけど一度「ママがいい」と言われたぐらいでくじけないでほしいですね。私たちだって何百回と泣かれてるんだから。

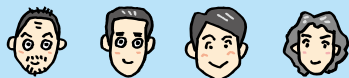
 くじけるのは0歳児の時。すごい勢いで泣くから恐ろしくなるんです。でも我慢して抱いていたら、パパのにおいを覚えて泣かなくなりますよ。

 ウンチと気づいても気づかないふりをするのも…


 そうですよ。あと、ウンチのオムツ替え！オムツを開いてそのまま閉じてる…。「これはお前の出番だ」みたいな。


 私は「いいウンチ出てるな～」といとおしかったですよ。


 父親がしている育児として“お風呂にに入れる”がよくあげられます。特に乳幼児のころは、お風呂の温度を適温になっているか確認したり、着替えがすぐできるように準備しておいたり、前後にいろいろな作業があるんです。そういう妻のお膳立てがあつてることを、夫は気づいていない。育児や家事に関して、妻がやるのは当たり前で、夫がやるとほめられる。私たちだってたまには“ありがとう”と言われたいです。





男性全員：反論すらできません。すみません…。


 Bさんのところは高校生の娘さんがいらっしゃいますが、高校生になると父親と関わる時間って少なくなりましたか？


 うちの少し変わってまして、結構仲がいいんですよ。これぐらいの年ごろになると、父親のことを敬遠しがちになると思うんですが、日曜日に二人で買い物に行ったり。


 それは小さいころからの積み重ねのおかげですか？

 休日に私が出勤で夫が休みだと、夫が子どもを見るしかないので慣れているんだと思います。


 いいですね～。夫は子どもと二人だけでも大丈夫と思っているんですが、私が心配で二人っきりにさせられないんです。それで、私の実家に二人まとめて預けています。そうすると、子どもの世話は私の母がメインで夫はサブ的なスタンスになってしまうんです。


 小さい時は、身の周りのことに手間がかかるので人手をいかに確保するかが課題でした。でも成長してくるとメンタル面のことが出てきます。そうすると、うちの女の子だったこともあり、仲はいいけど、父親には相談しにくいこともあるようです。


 そう考えると、父親が子育てに参加できる時間って短いですよ。

 うちも、「今しかないよ～！」ってしょっちゅう夫に言ってます。


パパに子育ての知識を


 男性側の意見としては育児に関心があっても時間的に関われなかったり、知識がなくてどうしたらいいかわからないという声も聞きます。子育ての知識を世のお父さん方に伝えるということも大事ですよ。


 妻や身内がいろいろ教えてくれても、“知っとるさ！”と素直に聞けないんです。でもボイスチェンジして、他人やメディアからだちゃんと聞けるんです。ただ多くのお父さんたちは、子育ての情報にふれる機会が少ないと思います。


 妻の出産時に病院で“初めてのパパ講座”を開くというのはどうでしょう？仕事で忙しいお父さんたちも、妻の出産時には病院へ行くとしますよ。出産してから退院するまでの間にそういう講座を受けられればいいと思います。精神的にも一番これから父親としてがんばろう！とと思っている絶好のタイミングだと思うので。

もうひとつ…

 夫が子育てを一緒にやっていくという気持ちになることだけでもすごうれしいです。

 実際に手を出してもらうことも大事だけど、心がけたり思ってくれるだけでも嬉しい。「きょう早く帰れなくてごめん！」のような一言がほしいです。

 夫は子育ての協力者ではなくて当事者。その自覚をお互いに持つことが大事だと思います。

 今回、女性たちのさまざまな『ホンネ』をお聞きしてきました。また、それに対する男性たちの感想も聞いてきましたが、女性たちの厳しい声にショックを受けたり、様々な反応が伺えました。その中で少し気になった声がありました。

「男を転がすのも女の力量」

こういった言葉を言われて、つらい思いをしてきた女性は少なくないと思います。「男性の行動の責任は女性にある」という“偏見”から、女性に無理な要求をしているのではないのでしょうか？

一方で、“パパに子育ての知識を”という部分では、貴重な意見を聞くことができました。出産後ママたちは精神的にちょっと不安定になることがあります。夫が子育てを一緒にやっいてこうという気持ちになってくれると、ママたちはうれしいし、安心すると思います。こういう意見を男性から聞けたというのがとてもすてきなことだと思いました。



「自分の人生は自分で決める」

「女(男)に生まれて
ソソした」って、子どもに
言わせたくないよね。



男だから女だからって
やりたいことをあきらめるのも
あきらめさせられるのも
イヤだよな。

仕事と生活の調和
(ワーク・ライフ・バランス)
は、一人ではできない。



社会全体で
働き方の見直しが必要だね。



対等な関係って難しい
けど、支配的関係で苦しん
でいる人は大勢いる。



男でも女でも
自分の人生、後悔せず
に生きたい。



家族の中で一人に
負担がかからないよう
にしようね。



みんな、自分らしく
イキイキと暮らし
たいね！

女性や子どもが暮らし
やすい社会は、だれにとっても
暮らしやすい社会。



仕事と家事育児ができる
本当の「できる男」を
目指します！



ドメスティック・バイオレンス(DV)とは？

配偶者や恋人など親密な関係の中で、身体的・精神的・性的・経済的な暴力などが複雑にからみあって起こるのがDVです。

- 郵便物を勝手にあける・メールを黙って見る・行動を監視する・友人や知人に会わせない・親など家族と連絡をとるのを嫌がる・メールにすぐ返事をしないと怒る
- ののしる・ばかにする・どなる・無視する・脅す・自殺などをほのめかす・物にあたる・物を壊す・テーブルをひっくり返す・大事にしているものを捨てる・子どもを取り上げると言う・子どもの前で悪く言う・ペットを虐待する
- 生活費を渡さない・収入を教えない・借金を繰り返す・パートナーが仕事を持つのを嫌がる・無理に働かす・給料を取り上げる
- セックスを強要する・避妊に協力しない・妊娠や中絶を強要する
- 「暴力じゃない」「たいしたことない」と暴力を過小評価したり否認する・「怒らせたおまえが悪い」と責任転嫁する

これらはすべて相手を支配・コントロールしようとしてふるわれる暴力です。

話してみませんか？

家庭や仕事、人間関係、心や体のことなどだれにも言えずに悩んでいませんか？
夫婦や家庭内の心配事、子どもに関すること、結婚や離婚のこと、近所や職場の人間関係の悩み、配偶者や交際相手からの暴力の悩み(DV・デートDV) …など。

話すことで、気持ちが楽になることもあります。

相談窓口……………相談無料。専門の相談員がお受けします。秘密は厳守します。

◆ **アバンセ 女性総合相談** Tel.0952-26-0018

電話相談 火曜～土曜 9:00～21:00

日曜・祝日 9:00～16:30

面接相談 原則予約制

◆ **アバンセ 男性総合相談** Tel.0952-26-0020

相談日時 第2・第4火曜日 19:00～21:00

(※アバンセ休館日の場合、翌日水曜日)



- 発行：佐賀県 平成 24 年 3 月
- 製作：佐賀県立男女共同参画センター
- 企画・協力：男女共同参画啓発用資材作成委員会

問い合わせ先：佐賀県立男女共同参画センター

〒 840-0815 佐賀市天神 3 丁目 2-11

TEL 0952-26-0011

FAX 0952-25-5591

E-mail danjo@avance.or.jp